

## 1. 参加者の定量的な分析

## (1) 参加者数

## ①会場別参加者数

東京会場	大阪会場	名古屋会場	福岡会場	合計
66名	41名	27名	45名	179名

## ②会員種別参加者数

一般会員	賛助会員	協力会員	非会員	合計
83名	58名	10名	28名	179名

## (2) アンケート回収数 (回収率)

## ①会場別参加者数

東京会場	大阪会場	名古屋会場	福岡会場	合計
41名 (62%)	33名 (80%)	28名 (100%)	47名 (100%)	149名 (83%)

## 2. アンケートの定量的な分析

## ①セミナー内容への満足度

	大変満足	満足	普通	不満	無記入
第一部：ZEHの定義、外皮の設備仕様、 一次エネルギー消費量の基礎について	42名 (28%)	74名 (49%)	20名 (13%)	0名 (0%)	13名 (9%)
第二部：ビルダーによる、ビルダーのための ZEHセミナー	69名 (46%)	66名 (44%)	7名 (5%)	0名 (0%)	7名 (5%)
第三部：ZEHを構成する最新ZEH商材について	23名 (15%)	50名 (34%)	63名 (42%)	1名 (0%)	12名 (8%)
第四部：2030年に向けてのZEH普及施策 ～ZEHは三方よし～	64名 (43%)	57名 (38%)	10名 (7%)	0名 (0%)	18名 (12%)

## ②自由記入

### 1) セミナーについての要望

#### (1) 開催エリア等について

- 1.北関東での開催希望。
- 2.広島でのセミナー開催。
- 3.四国での開催もしくはネット中継。
- 4.九州での定期的なセミナーの開催
- 5.会員社員向けへの研修講師の派遣。

#### (2) 内容について

- 1.初めて聞く人にむけたセミナー開催。
- 2.内容に関して、人的ソースが可能ならレベル毎に分けても良いかなと感じました
- 3.もっと詳細・応用編の勉強会があれば参加したい。
- 4.LCCM の勉強会、お客様へのロープレ研修会。
- 5.評価制度の PR 事例、優位性の PR 方法などをセミナーに取り入れてほしい。
- 6.ZEH の現場見学会、事例発表などがあるとよい。
- 7.創エネ側の有効活用についての説明パートを増やして頂けたら有難いです。

#### (3) その他

- 1.賛助会員が参加できる見学会。
- 2.消費者向けセミナー。エンドユーザーへの広報活動。TVCM。

### 2) 補助金について

- 1.ZEH の会員には補助金の年間スケジュールとタイミングの連絡が欲しい。
- 2.来年度の ZEH 支援（補助事業）に向けての情報が知りたい。
- 3.LCCM の申請方法を詳しく教えてほしい。
- 4.独自の補助金等をもっとやってほしい。
- 5.ZEH の高度エネマネの実績報告で「エネルギー計測を廃止して欲しい」と希望を言って欲しい。

### 3) その他、ZEH 協への要望

#### (1) 普及活動について

- 1.ZEH、ZEH+、LCCM 住宅の認知度アップ。
- 2.現在、一条工務店など床暖採用されているビルダー様の ZEH 対応をお教え頂きたいと思います。
- 3.PR が産業用に偏っているので住宅向けで施主がメリットを得られる取り組みを検討してほしい。

#### (2) 今後の注目点・論点について

- 1.重点 8 機器でのロードマップ以外での AIF との連携の在り方について議論していきたい。
- 2.PV 以外の再エネの選択肢も何かあればと思いました。
- 3.VPP、PPA の動向の情報。
- 4.募集期間は良いとして決定から最後まで ZEH 木造住宅の資産価値について期間が短く思います。
- 5.建売での取り組み
- 6.低日照地域、積雪地域での太陽光発電について。
- 7.都市部の ZEH 対応について。
- 8.リフォーム市場が新規参入によって荒れている気がする。特に省エネの観点で。

### 4) お客様への PR について

- 1.高断熱住宅が増加していく中でお客様にあった商品を PR していきたい。
- 2.広報の担当をしておりますので、HP、チラシなどで分かりやすく伝えたいと思います。
- 3.北陸の PV の資料を活用してプラスにしたいと思っています。
- 4.非常に勉強になりました。工務店様への意識を変えてもらえる様に今日学んだことを伝えていきます。
- 5.ZEH を推進することがデザイン住宅との方向性、ギャップがおおきくなってゆくのではないかと思います。メカメカに向かうメリットとデメリットが生じるような気がします。
- 6.補助金がもらえるから性能アップという方が多いので、経済面だけではなく健康・環境にも目を向けてもらえるようにしたい。

### 5) その他

- 1.社会全体の ZEH 普及の必要性に向けた意識統一が優先だと感じました。
- 2.今後も地球にやさしい家づくりができるよう情報や勉強会を楽しみにしております。
- 3.社会制度が大きく変わる程の流れの中で、住宅産業から環境問題を意識するいい機会になりました。
- 4.社内勉強会を開催して、スタッフの ZEH リテラシーを向上させます。